

LWN-A54CBS V03A

Card Bus WIRELESS LAN CARD

無線LANカード スタートアップガイド

LWN-A54CBS

Logitech

目次

取扱い上のご注意	1
ロジックソフトウェア使用権許諾契約書	2
電波に関する注意事項	4
付属品の確認	5
ごあいさつ	6
ご注意	6
第1章 製品のご紹介	8
1.1 製品の概要	8
1.2 使用環境	9
1.3 各部の名称と機能	10
第2章 使えるようになるまで	11
第3章 使い方について	20
3.1 通信設定について	20
3.1.1 スマート認証モード、指紋認証（BIO）モードでの設定	20
3.1.2 ソフトウェアを使用して手動で設定をする	23
3.2 通信について	24
3.2.1 通信設定の確認	24
3.2.2 通信時のポイント	26
3.3 コンピュータ名の設定について	27
3.4 補足事項	28
3.5 アンインストール	30
3.6 トラブルシューティング	32
ハードウェア仕様	35
オプション品について	36
無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意	40

取扱い上のご注意



警告

この項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

万一、異常が発生したときは。

本製品もしくはソコン本体から異臭、異音や煙が出たときは、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



濡れた状態で使用しないでください。

本製品に水などの液体が付着した状態で接続を行わないでください。故障、感電、火災の原因となります。



絶対に分解 / 改造しないでください。

感電や火災の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



指定された場所以外に装着しないでください。

本製品はPC カードスロットに装着する仕様となっております。それ以外の場所には装着できませんので、事前にご購入された製品の機種名と接続形態をご確認ください。



注意

この項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が物的損害を負う危険性、もしくは本製品自体を損傷する危険性がある項目です。

静電気が発生しやすい場所で保管 / 使用しないでください。

コネクタ部にはなるべく手を触れないでください。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。

温度 / 湿度が急激に変化すると、内部結露が発生して誤動作の原因となります。気温の低い場所から高い場所に移動したときは、しばらく放置して周囲の気温と同程度になってからご使用ください。



ご使用の前に必ずお読みください。

ロジックソフトウェア使用权許諾契約書

本契約は弊社とお客様との間で締結されるものです。本契約書をよくお読みの上、本契約書にご同意いただいた場合には、お手数ですが本製品添付のユーザー登録カード（保証書と一体で添付されているもの）に必要事項をご記入の上、ご返送いただきますようお願いいたします。

本契約に関して疑義がある場合、もしくは弊社にご連絡を取りたい場合は、以下にご連絡ください。

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268 ロジック株式会社 テクニカルサポート

1. 使用許諾

- (1) 弊社は、添付ソフトウェアプログラム（以下「本ソフトウェア」といいます）を、本ソフトウェアとともに提供されるハードウェア（本ソフトウェアがキットに添付される場合にはキットが組み合わされるハードウェア）において使用できる使用权をお客様に許諾します。
- (2) お客様は、本ソフトウェアを一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。ネットワークシステムの場合は、一時に一台の端末でのみ使用することができます。

2. 著作権

- (1) お客様は本ソフトウェアをその他の著作物と同様に取り扱っていただく必要があります。ただし、バックアップ目的のみ本ソフトウェアを複製すること、またはオリジナルを保存用のみに保持して本ソフトウェアをハードディスクに組み込むことができます。
- (2) お客様は、本ソフトウェアとともに提供された取扱説明書等の印刷物を複製しないものとします。

3. 規制

- (1) お客様は、本ソフトウェアを貸与したり、リースに供することはできないものとします。ただし、お客様は本ソフトウェアとその関連資料の複製物を保有していないこと、および受領者が本契約の条件に合意していることを前提に、本ソフトウェアおよびその関連印刷物を第三者に譲渡することができます。その場合、お客様は本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアを同時に当該第三者に譲渡するものとします。

- (2) お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。
- (3) お客様は、本ソフトウェアのコピーを分配したり、ネットワークシステム内の1台の端末から他へ電送してはならないものとします。

4. 保証

弊社は本ソフトウェアに関して以下の保証のみを行いません。なお、この保証は日本国内のみにて有効なものとします。

- (1) お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から1年以内に弊社が本ソフトウェアの誤りの修正を行なったときは、弊社はその修正内容をお客様に提供するものとします。ただし、弊社がその裁量により情報の提供を決定した場合に限ります。
- (2) 本ソフトウェアの記録媒体に、本ソフトウェアの使用に支障を来すような物理的欠陥があった場合には、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から30日以内にご連絡をいただければ、弊社は当該記録媒体を無償で交換（ただし、弊社が当該欠陥を弊社の責任によるものと認めた場合に限ります。）するものとします。これをもって記録媒体に関して弊社が行なう唯一の保証とします。

5. 免責

- (1) 弊社は、本ソフトウェアを使用した結果に関していかなる保証も行いません。本ソフトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任及び費用負担によって処理されるものとします。
- (2) 弊社は、本ソフトウェアおよびその関連印刷物および本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアに関して、商業的に有用であること、特定の目的に適合すること等に関し、明示的にも黙示的にも一切の保証をしないものとします。
- (3) いかなる場合であっても弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより生じる商業的利益の逸失、商業的支障その他のいかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。

6. その他

- (1) 弊社は、ユーザー登録カードにより登録をいただけないお客様に対しては、バージョンアップサービスその他のサポートサービスを行なう義務を負いません。
- (2) 本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

電波に関する注意事項

本製品は、電波法に基づく省電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合証明を受けています。従って本製品を使用する際に、無線局の免許は必要ありません。ただし、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

共通

- ・本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用しないで下さい。
- ・本製品は特定無線設備として技術基準適合証明を受けているため、以下の行為を行うと法律により処罰される場合があります。
 - ・本製品を分解、改造した場合。
 - ・本製品の裏面に貼ってある側面ラベルをはがした場合。

IEEE 802.11a 使用時

- ・本製品が IEEE 802.11a 規格の通信時に使用する 5.2GHz 帯の電波は地球探査衛星等の通信システムが使用しています。これらの通信システムとの電波干渉を避けるため、屋外での使用は厳禁となっております。これに違反した場合法律により処罰される場合がありますのでご注意ください。

IEEE 802.11b 使用時

- ・本製品が IEEE 802.11b 規格の通信時に使用する 2.4GHz 帯の電波は以下の機器や無線局が使用しています。
 - ・産業・科学・医療用機器
 - ・電子レンジなどの加熱装置
 - ・工場の製造ライン等で使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要するもの）
 - ・特定省電力無線局（免許を要しないもの）

そのため、以下の注意事項をお守りの上ご使用ください。

心臓ペースメーカを使用している人の近くや、医療用の機器の近くでは絶対に本製品を使用しないで下さい。電波干渉を及ぼし生命に危険を与える可能性があります。

電子レンジなどの加熱機器のそばでは使用しないで下さい。電波干渉が発生します。

本製品をご使用の前に本製品の周辺で移動体識別用の構内無線局または特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。本製品からそれらの無線局に電波干渉が生じた場合は、直ちに本製品の使用周波数を変更して電波干渉を回避してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合等、問題が発生した場合は弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

使用周波数帯域	2.4GHz (IEEE 802.11b) 5.2GHz (IEEE 802.11a)
変調方式	DS-SS 方式 (IEEE 802.11b) OFDM 方式 (IEEE 802.11a)
想定干渉距離	40m 以内 (IEEE 802.11b)
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定省電力無線局」帯域を回避可能。(IEEE 802.11b) 全帯域を使用可能 (IEEE 802.11a は屋内のみ)

注：想定干渉距離とは、構内無線局または特定省電力無線局との電波干渉が想定される距離です。(通信可能距離とは異なる場合があります。)

付属品の確認

本製品ご使用の前に以下の付属品が同梱されていることをご確認ください。

無線LANカード（LWN-A54CBS）	1 枚
ユーティリティCD-ROM	1 枚
スタートアップガイド	本書
保証書・ユーザー登録カード	1 枚

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を接続した環境で、データがハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。



ご注意

当社 DOS/V 対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーの DOS/V パソコンで一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

(*1)OADG は「PC オープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。

(OADG URL <http://www.oadg.or.jp/>)

* Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。Acrobat®Reader®は米国アドビシステム社の米国または、その各国での商標または登録商標です。

- ・本製品は OpenSSL Toolkit を使用するために OpenSSL Project により 開発されたソフトウェアを含みます。(http://www.openssl.org/)
- ・本製品は Eric Young(eay@cryptsoft.com) によって書かれた 暗号ソフトウェアを含んでいます。
- ・本製品は Atheros 社製の無線 LAN チップセットを使用しています。

第 1 章 製品のご紹介

1.1 製品の概要

本製品は IEEE802.11a、および 802.11b に対応した無線 LAN カードです。CardBus 対応の PC カードスロットに接続して使用できます。弊社製アクセスポイント (LWN-A54APS) と組み合わせて使用する場合、セキュリティを確保しながら無線による最大 54Mbps (理論値) での高速データ通信が可能です。

本製品の特徴

公称最大 54Mbps の高速通信を実現し電波干渉の少ない IEEE802.11a と、現在広く使用されている IEEE 802.11b の両規格に対応しています。

弊社製アクセスポイント LWN-A54APS をご使用になれば、スマート認証と LDLS (Logitech Datalink Layer Security) 認証を行ってセキュアな通信が可能です。

スマート認証とはクライアントカードをアクセスポイントにセットして行う認証のことです。スマート認証モードでは、アクセスポイントに本製品をセットして、取り外すだけで、本製品をセットしたクライアントとアクセスポイントの通信が可能となりますので面倒な設定は必要ありません。

具体的には、弊社製アクセスポイント (LWN-A54APS) に本製品をセットしたときに、アクセスポイントから本製品へ、通信設定情報、公開鍵の発行をし、本製品の MAC アドレスをアクセスポイントに自動登録します。情報の受け渡しを行った無線 LAN カードをクライアントパソコンにセットすると、交換した情報を元に認証と通信を行います。通信開始時には LDLS 認証によるユーザ確認を行い、通信時はユーザーごとに異なる暗号キーを使用します。

LDLS 認証とは、通信開始時にデータリンク層において公開鍵暗号方式でアクセスポイントとクライアント間の相互認証を行い、その後セッションキー (暗号キー) を生成し、そのキーを AP-クライアント間で共有して通信を行う弊社独自の認証方式です。

また弊社製アクセスポイント (LWN-A54APS) との組み合わせでは、指紋認証 (BIO) モードでの通信にも対応しています。指紋認証 (BIO) モードとはネットワーク管理者の指紋を認証に使用し、管理者が許可したユーザーのみスマート認証ができるようにするモードです。スマート認証モードのセキュリティに加え、指紋認証による制限を加えるので、より高度なセキュリティが確保されます。このモードを使用するには別売の弊社製 USB 指紋認証ユニット (LWN-BF16U) が必要です。

152bit/128/64bit での WEP 機能の他に AES128bit 暗号にも対応。弊社製アクセスポイントと通信を行う際には AES によるセキュアな通信が確保されます。

付属のユーティリティを使用してアクセスポイントの設定情報をプロファイルとして登録しておけば、パソコンを持ってアクセスポイント間を移動しているときに、自動的にプロファイルを変更し、通信を継続するクライアントローミング機能に対応しています。

1.2 使用環境

対応パソコン

本製品は、以下のパソコンに接続して使用することができます。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ

CardBus 対応の PC カードスロット (3.3V 対応) を搭載している機種に
限ります。

Point

ポイント

PC カードスロットのないパソコンで無線 LAN カードをご使用になる場合
別売の LPM-CA10RP をパソコンに増設し、LPM-CA10RP の PC カードス
ロットに本製品を接続してご使用ください。ただし、パソコンに空き PCI
スロットがある必要があります。

対応 OS

本製品は以下の OS で使用することができます。すべて日本語 OS のみに
限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用すること
ができません。

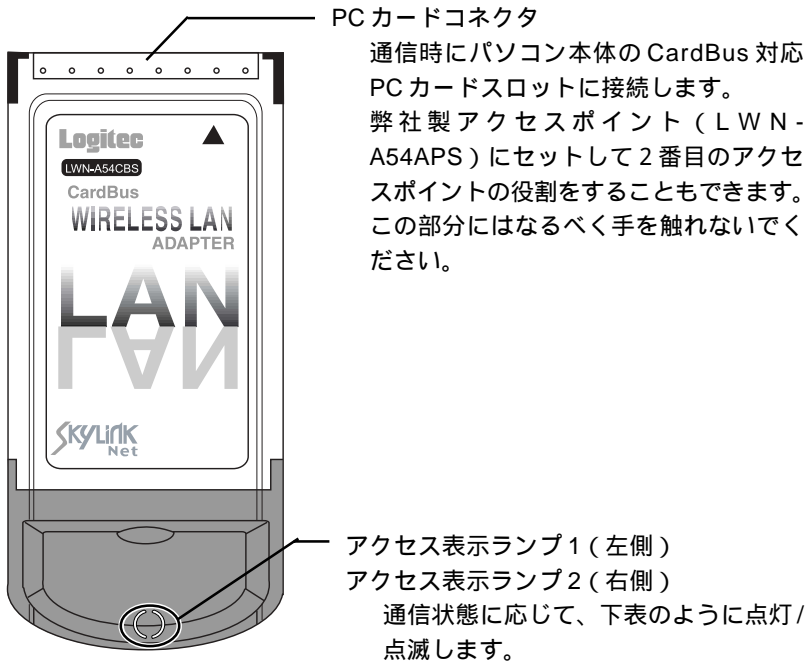
Windows XP Home Edition/Professional
Windows Me
Windows 98 Second Edition
Windows 2000 Professional



ご注意

- ・パソコンの機種により、使用できない OS やバージョンが存在する場合も
あります。パソコン本体の対応 OS については、パソコン本体メーカーに
お問い合わせください。
 - ・本製品は Macintosh 環境ではご使用になれません。
-

1.3 各部の名称と機能



アクセス表示ランプの機能

状態	表示ランプ1	表示ランプ2
省電力モード時	消灯	ゆっくり点滅
省電力モードから復帰時	消灯	点灯
通信可能な機器を検索時	順番に点滅	
ネットワーク接続後、通信を行っていない時	ゆっくり点滅	ゆっくり点滅
通信時	点滅	点滅

第2章 使えるようになるまで

本章では本製品が通信を行うのに必要なドライバおよびユーティリティをインストールして本製品をパソコンに接続し、使用可能な状態になるまでの手順をご説明いたします。



Windows XP、2000 でご使用の客様へ重要なお知らせ

本製品と通信を行うパソコンに Windows XP、2000 をご使用で、DHCP クラウドとして TCP/IP 設定を行っている場合、コンピュータ名が 16 文字を超えていると IP アドレスを取得できない場合があります。このような場合はコンピュータ名を 15 文字以内に設定してください。詳しくは「3.3 コンピュータ名の設定について」をご参照ください。

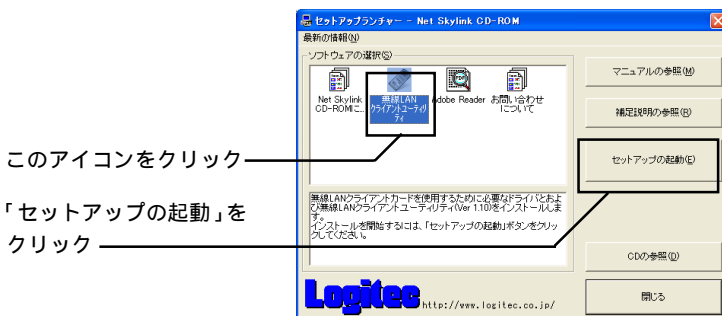
インストール手順

パソコンの電源を入れ Windows のシステムを起動してください。

Windows XP、2000 をご使用の場合は、このとき管理者権限のあるユーザー（「コンピュータの管理者」や「Administrator」等）としてシステムにログオンしてください。

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。セットアップランチャーが起動して以下の画面が表示されます。

「無線 LAN クライアントユーティリティ」のアイコンをクリックして選択状態にして、「セットアップの起動」ボタンをクリックしてください。



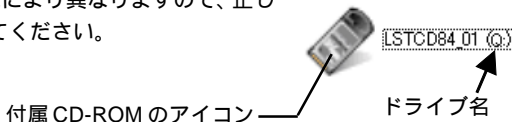
説明に使用する画像は Windows XP のものですが、表示される内容は他の OS でも同じです。

Point

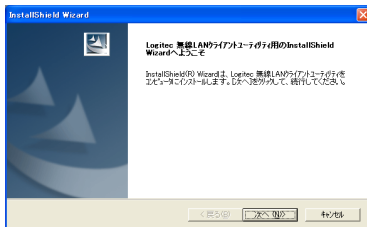
ポイント

セットアップランチャーが自動的に起動しない場合は、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、表示される画面で「Q:¥start.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

ここで入力する「Q:」は付属のCD-ROMがセットされているCD-ROMドライブのドライブ名です。環境により異なりますので、正しいドライブ名を指定してください。



セットアップウィザードが起動して右の画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。



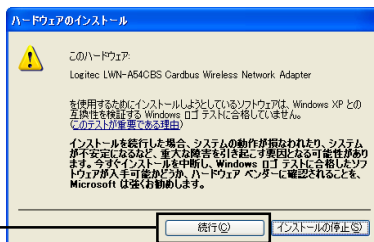
この後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。

Point

ポイント

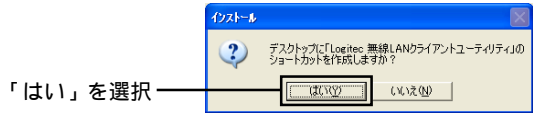
Windows XPをご使用の場合、インストールを進めてゆくと下の画面が表示されます。本ドライバをインストールする際は、以下のウィンドウが表示されますが、弊社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows XP上で正常に動作することを確認して提供しております。「続行」ボタンをクリックし、そのままインストールしてご使用ください。

「続行」ボタンが表示されない場合は「3.6 トラブルシューティング」をご参照ください。



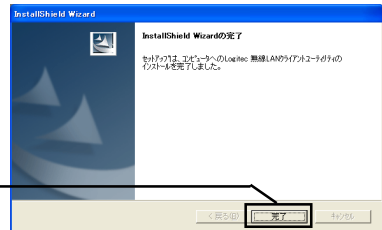
「続行」ボタンをクリック

インストールの最後にデスクトップにショートカットを作成するかどうかを尋ねる画面が表示されます。通常は「はい」を選択してください。

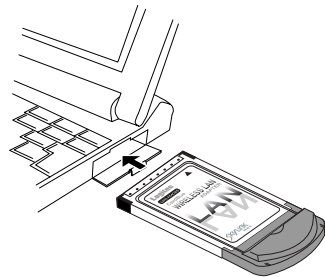


以下の InstallShield Wizardの完了画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。

「完了」ボタンをクリック



次に付属の無線 LAN カード (LWN-A54CBS) を設定用パソコンの PC カードスロットに接続してください。

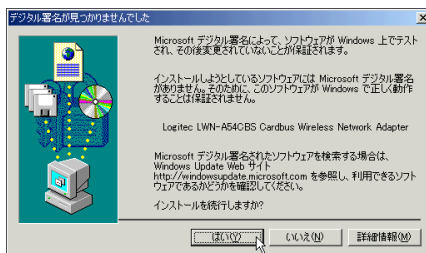


Windows Me、Windows 98 Second Edition をご使用の場合は、付属の無線 LAN カードを接続すると最終セットアップが行われ、終了すると無線 LAN カードが使用可能な状態になります。「接続/インストール結果の確認」を参照して、無線 LAN カードがパソコン側から正しく認識されていることを確認してください。

Windows XP、2000 をご使用の場合は次ページ以降をご参照ください。

Windows 2000 の場合

Windows 2000 をご使用の場合、無線 LAN クライアントカードを接続すると以下のメッセージが表示されますので「はい」をクリックしてください。最終セットアップが行われ、終了すると無線 LAN カードが使用可能な状態になります。この後は「接続 / インストール結果の確認」を参照して、無線 LAN カードがパソコン側から正しく認識されていることを確認してください。



ここで「はい」ボタンが表示されず、最終セットアップが行われずに終了してしまう場合は「3.6 トラブルシューティング」をご参照ください。



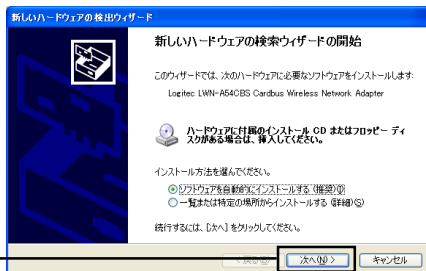
参考

本製品用のドライバは「Microsoft デジタル署名」を取得していませんので、上記のウィンドウが表示されますが、弊社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows 2000 上で正常に動作することを確認しています。

Windows XP の場合

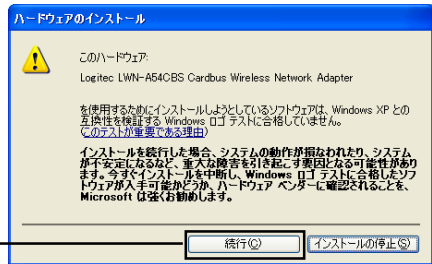
Windows XP をご使用の場合、無線 LAN クライアントカードを接続すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。以下の手順で最終セットアップを行ってください。

右の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックしてください。



「次へ」をクリック

セットアップ中に右の画面が表示されます。「続行」ボタンをクリックしてください。



「続行」をクリック

最終セットアップが行われ、終了すると右の画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。



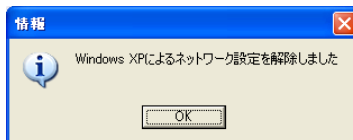
「完了」をクリック

以上でドライバ、ソフトウェアのインストールは終了です。インストールが終わったら「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「Logitech」 - 「LWN-A54CBS」 - 「ロジテック無線 LAN クライアントユーティリティ」と選択してください。



この項目を選択

以下のようなメッセージが表示されたら、そのまま「OK」をクリックしてください。このメッセージが表示されたら通信が可能な状態になります。「接続/インストール結果の確認」を参照して、無線LANカードがパソコン側から正しく認識されていることを確認してください。



表示されない場合は、手動でワイヤレスネットワーク設定を変更する必要があります。以下をご参照ください。

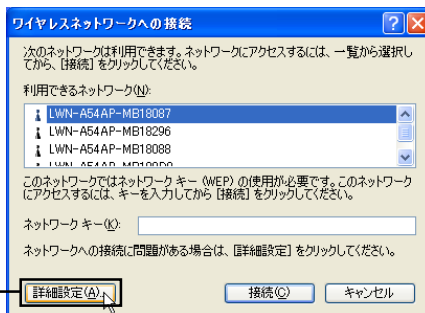
ワイヤレスネットワーク設定の変更手順

(Windows XP のみ)

「スタート」ボタンから「接続」を選択し、表示されるメニューから「ワイヤレスネットワーク接続」をクリックしてください。



「ワイヤレスネットワークへの接続」画面が表示されます。「詳細設定」ボタンをクリックしてください。



「詳細設定」を
クリック

Point ポイント

手順 で「ワイヤレスネットワーク接続の状態」画面が表示された場合は、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。

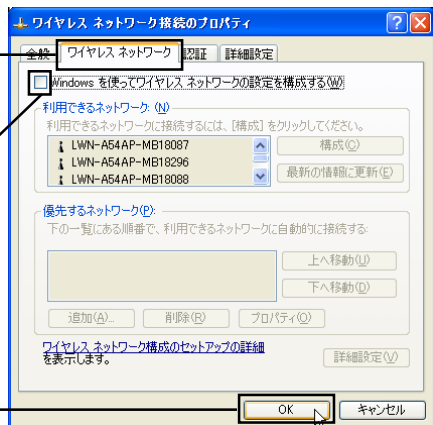
「プロパティ」を
クリック



「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。「ワイヤレスネットワーク」タブを選択し、表示される画面内の「Windows を使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する」のチェックをオフにして、「OK」ボタンをクリックしてください。

1. 「ワイヤレスネットワーク」タブ
を選択

2. このチェックボックスをオフ
にします。



3. 「OK」ボタンをクリック

以上で設定の変更は終了です。この後は「接続 / インストール結果の確認」を参照して、無線 LAN カードがパソコン側から正しく認識されていることを確認してください。

接続 / インストール結果の確認

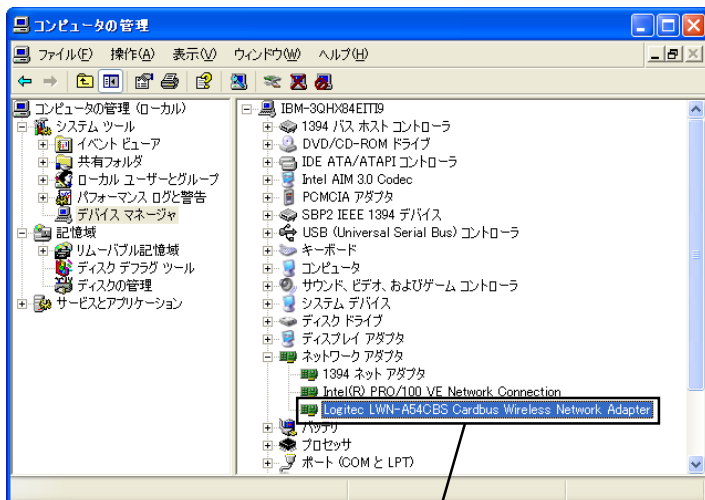
接続とインストールが終わったら以下の手順でパソコン側から無線 LAN クライアントカードが正しく認識されているかを確認してください。正しく認識されていたら、設定用パソコンからアクセスポイントの設定が可能になります。

Windows XP、2000 の場合

「マイコンピュータ」を選択して右クリックし、表示されるメニューから「管理」をクリックしてください。

「コンピュータの管理」画面が表示されるので、左側のコンソールツリー上から「デバイスマネージャ」を選択してください。

「コンピュータの管理」画面右側にデバイスの一覧が表示されます。「ネットワークアダプタ」という項目をダブルクリックし、その下に「Logitech LWN-A54CBS Cardbus Wireless Network Adapter」という項目があり、「？」や「！」という表示がなければ、無線 LAN クライアントカードは正しく認識されています。



「Logitech LWN-A54CBS Cardbus Wireless Network Adapter」という項目があることを確認

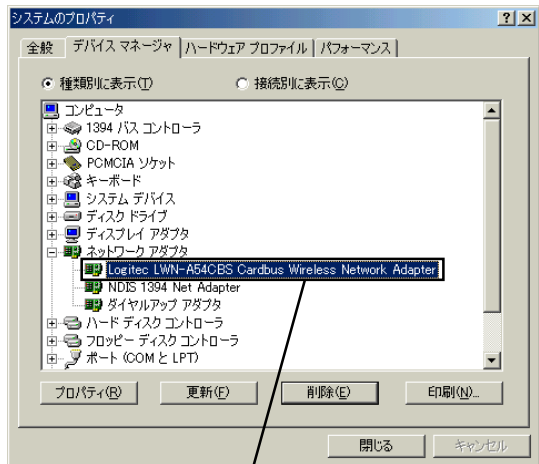
上の項目が表示されない場合は、「3.6 トラブルシューティング」をご参照ください。

Windows Me、98 Second Edition の場合

「マイコンピュータ」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックしてください。

「システムのプロパティ」画面が表示されるので、「デバイスマネージャ」タブを選択してください。

デバイスの一覧が表示されます。「ネットワークアダプタ」という項目をダブルクリックし、その下に「Logitech LWN-A54CBS Cardbus Wireless Network Adapter」という項目があり、「？」や「！」という表示がなければ無線LANクライアントカードは正しく認識されています。



「Logitech LWN-A54CBS Cardbus Wireless Network Adapter」という項目があることを確認

上の項目が表示されない場合は、「3.6 トラブルシューティング」をご参照ください。

第3章 使い方について

3.1 通信設定について

本製品の設定方法には次の2種類があります。

弊社製アクセスポイントを使用して設定を行う。

本製品をアクセスポイントにセットしてから、パソコンにセットすると、自動的に通信が可能になります(スマート認証モード)。この方法で設定を行えば、ユーティリティを起動することなく、通信が可能になります(注)。

また、パソコンにセットする前に、別売のUSB指紋認証ユニット(LWN-BF16U)を使用して、指紋による管理者の許可を受けてから上記の方法で設定を行う方法もあります(指紋認証(BIO)モード)。

Windows XPでは、ユーティリティを起動しておく必要があります。

インストールしたソフトウェアを使用して手動で設定する。

手動で設定する場合は、弊社製アクセスポイントの他に、他社製のアクセスポイントとも通信可能となります。ただし、セキュリティのレベルは弊社製アクセスポイントへの通信と比べて低くなります。

ここでは、それぞれの設定方法について順番にご説明いたします。

3.1.1 スマート認証モード、指紋認証(BIO)モードでの設定

弊社製アクセスポイントLWN-A54APSを使用してスマート認証モード、バイオ認証モードで通信を行う場合、設定を行う前に以下の点を確認してください。

通信を行うアクセスポイントが弊社製アクセスポイント「LWN-A54APS」であること。

スマート認証モード、指紋認証(BIO)モードによる通信は、このアクセスポイント以外ではできません

アクセスポイントの設定がスマート認証モード、または指紋認証(BIO)モードになっていること。

アクセスポイントの設定は、アクセスポイントの管理者へご確認ください。また、指紋認証(BIO)モードで設定を行う場合は別売のUSB指紋認証ユニット「LWN-BF16U」が必要になります。

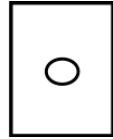
設定手順

スマート認証モードで設定を行う場合も、指紋認証（BIO）モードで通信を行う場合も、設定を行う前にアクセスポイントの Power ランプ、10M/100M ランプと、5GHz ランプまたは2GHz ランプのどちらかが点灯していることを確認してください。

1. スマート認証モード

アクセスポイントの電源が ON になっていることを確認し、トグルスイッチを Smart 側にセットします。

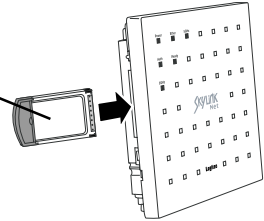
Dual
Smart
Bio



本製品をアクセスポイントの PC カードスロットにセットします。必要な値が交換されます。値の交換には数秒間かかります。

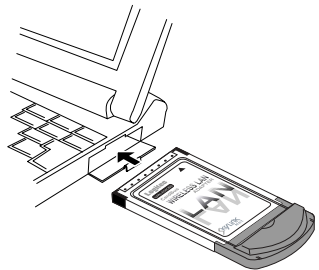
前面の Power ランプ、10M/100M ランプ、Dual/Auth ランプ、Ready ランプが点滅し、終了すると Ready ランプが緑色に点灯します。

本製品をセットします



アクセスポイントの PC カードイジェクトボタンを押して本製品をアクセスポイントから取り外し、通信を行うパソコン側にセットします。

以上で設定は終了です。これで通信が可能となります。



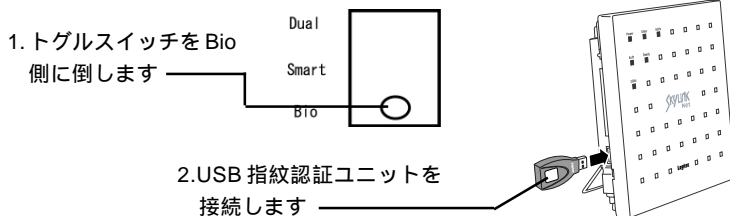
2. 指紋認証 (BIO) モードの場合

指紋認証 (BIO) モードで設定を行う場合、あらかじめ別売の USB 指紋認証ユニット (LWN-BF16U) に、管理者の指紋を登録しておく必要があります。詳しくは USB 指紋認証ユニットの取扱説明書をご参照ください。

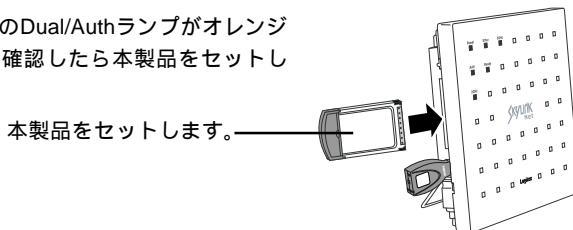
重要なご注意

指紋認証 (BIO) モードで設定を行なう場合、無線 LAN カードをアクセスポイントから取り外す時は、必ずトグルスイッチを、Smart 側に倒してから PC カードのイジェクトボタンを押して取り外してください。
複合通信に設定している場合に、あらかじめアクセスポイントに接続されアンテナの役割をしている無線 LAN カードを取り外す場合も同じように取り外してください。

アクセスポイント (LWN-A54APS) の電源が ON になっていることを確認し、トグルスイッチを Bio 側に倒しアクセスポイントの USB ポートへ別売の USB 指紋認証ユニット (LWN-BF16U) を接続します。



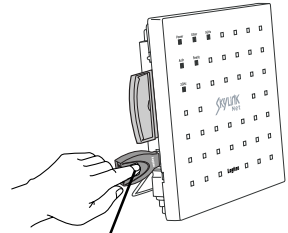
アクセスポイントの Dual/Auth ランプがオレンジ色に点滅したのを確認したら本製品をセットします。



ご注意

- ・トグルスイッチを Bio に倒す前に無線 LAN カードをセットしてしまった場合は、すぐに取り外しを行わず、と Ready ランプが緑色または赤色に点灯したのを確認してから取り外し、再度手順 1 からやり直してください。
- ・Dual/Auth ランプが消灯している場合は、USB 指紋認証ユニットがアクセスポイントに登録されていない、または正しく認識されていないことが考えられます。USB 指紋認証ユニットのユーザーズマニュアルおよびユーティリティガイドをご参照の上、再度 USB 指紋認証ユニットに指紋の登録をしておいてください。

アクセスポイントのReadyランプがオレンジ色に点滅したら、指紋登録してある指をUSB指紋認証ユニットのセンサー面にのせてください。10秒以上指紋認証を行わないと、Readyランプが赤色に点灯し、指紋認証ができなくなります。この場合は無線LANカードをいったん取り外し、再度手順1からやり直してください。



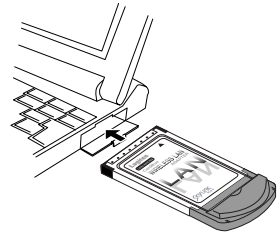
登録している指を載せてください

指紋が認証されるとアクセスポイントのPowerランプ、Dual/Authランプ、Readyランプ、10M/100Mランプが順番に点滅してスマート認証が行われ、終了するとReadyランプが緑色に点灯します。

認証に失敗した場合は赤色に点滅します。その場合はいったん指をセンサー面から離し、Readyランプがオレンジ色に点滅したら、再度指を載せてみてください。

3回認証に失敗したらReadyランプが赤色に点灯するので、センサー面に汚れがないか確認し、本製品をいったん取り外し、再度手順1からやり直してください。

トグルスイッチをSmart側に倒し、アクセスポイントのPCカードイジェクトボタンを押して無線LANカードを取り外し、通信を行うパソコン側にセットします。



以上で設定は終了です。これで通信が可能となります。

複数のクライアントを認証する場合は1～5の手順を繰り返します。

3.1.2 ソフトウェアを使用して手動で設定をする

手動で設定を行う場合は、付属CD-ROM内の「無線LANユーティリティガイド」をご参照ください。



ご注意

弊社製無線LANアクセスポイント(LWN-A54APS)との通信を手動で行う場合は、アクセスポイント側の設定も手動設定に切り替えておかなければなりません。

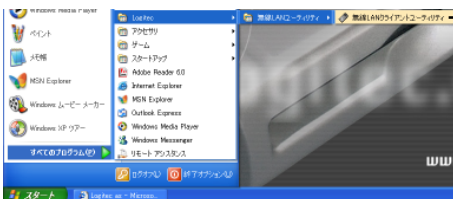
3.2 通信について

3.2.1 通信設定の確認

通信設定が正しく行われているかは、第2章でインストールした Logitech 無線 LANクライアントユーティリティを起動して確認します。ユーティリティは以下の手順で起動してください。

ユーティリティの使用方法については、CD-ROM内の「無線LANカードユーティリティガイド」(PDF)をご参照ください。

設定用パソコンから「スタート」 - 「プログラム」(Windows XPの場合は「すべてのプログラム」) - 「Logitech」 - 「無線LANユーティリティ」 - 「ロジテック無線LANクライアントユーティリティ」と選択してください。



この項目を選択

画面はWindows XP のものです

インストール時にショートカットのアイコンを作成した場合は、デスクトップに表示されている右のアイコンをダブルクリックして起動することもできます。



ロジテック無線LANクライアントユーティリティが起動します。画面左上の部分を確認してください。この部分に「OK」と表示されていればアクセスポイントとの通信が確立されています。

この部分を確認してください。



「?」と表示されている場合や、「OK」と表示されていてもネットワークに接続できない場合は、次ページをご参照ください。

本製品を接続してもネットワークに接続できない場合

画面左上に「？」印が表示されている場合

右の画面のように無線LANクライアントユーティリティの左上に×印が表示されている場合は、以下のことを確認してみてください。



- ・無線LANカードをパソコンにセットしなおしてみてください。
- ・アクセスポイントに接続し、再度スマート認証を行ってみてください。
- ・本書18-19ページを参照して、カードが正しく認識されているかを確認してください。
- ・正しく認識されていない場合は、「3.5 アンインストール」を参照していったん「Logitec 無線LANクライアントユーティリティ」をアンインストールし、再度ドライバをインストールしなおしてみてください。
- ・アクセスポイントが通信可能範囲に設置されているかをご確認ください。

画面左上に「OK」と表示されている場合

右の画面のように無線LANクライアントユーティリティの左上に「OK」と表示されているにもかかわらず、無線通信ができない場合は、パソコン側のIPアドレスの設定をご確認ください。



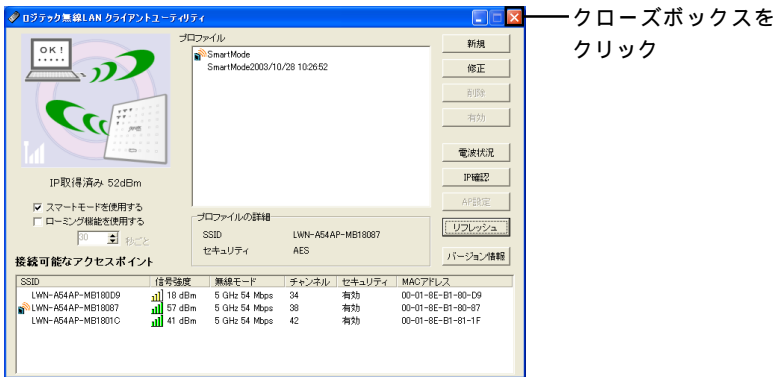
- ・IPアドレスを自動的に取得する設定で、通信ができない場合は、IPアドレスまたはデフォルトゲートウェイの設定に問題がある可能性があります。CD-ROM内の「無線LANカードユーティリティガイド」の「7. TCP/IPの設定を確認する方法」を参照してIPアドレスおよびデフォルトゲートウェイの設定をご確認ください。パソコン側の設定に問題がない場合、アクセスポイントおよびアクセスポイントが接続しているネットワーク設定に問題がある可能性があります。この場合は、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

また、ご使用のパソコンに複数の通信カードがある場合（たとえば、1つは有線LANで、もう一つが本製品の場合等）、インターネットに接続できないなど、通信ができない場合があります。これは、有線LANカードのLANケーブルが抜かれていてもOSの通信経路が有線LANカードになっており、有線LANカードの設定情報が残っていて、バケットが有線側に流されているためです。このような場合は、いったんログオフするか、システムを再起動してみてください。それでも通信が行えない場合は、「3.6 トラブルシューティング」をご参照ください。

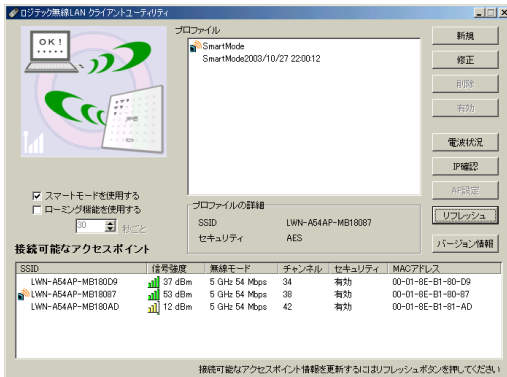
- ・IPアドレスを固定してる場合で、デフォルトゲートウェイを指定していない場合は、デフォルトゲートウェイを指定してください。デフォルトゲートウェイを指定しなければ、IPアドレスに矛盾がなくても、社内LAN等内部のネットワークには接続できますが、外部ネットワークとは通信できません。

3.2.2 通信時のポイント

本製品を使用して無線通信を行う場合、通信確立後、クライアントユーティリティを終了させてご使用いただくことも可能です。通信確立後は、ユーティリティを終了させても、通信が継続されます。また、ユーティリティを終了させることによって最大のスループットを得ることができます。クライアントユーティリティはのメインウィンドウで、クローズボックスをクリックし終了して使用することをお勧めします。。



Windows Me、98Second Edition をご使用の場合、ユーティリティは、起動時に接続可能なアクセスポイントの検索を行った後は、自動的にアクセスポイントの検索を行いません。そのような場合は「リフレッシュ」ボタンをクリックしてください。



Windows XP、2000 では、「リフレッシュ」ボタンを押さなくとも、ユーティリティ起動中は自動的にアクセスポイントの検索を行いません。

3.3 コンピュータ名の設定について

本製品を使用するパソコンに Windows XP、2000 をご使用で、DHCP クラウドとして TCP/IP 設定を行っている場合、コンピュータ名が半角で 16 文字を超えていると IP アドレスを取得できない場合があります。このような場合は、コンピュータ名を半角英数字 15 文字以内に設定してください。



ご注意

ご使用のパソコンを管理ネットワークに参加させるためには、パソコン側の設定だけでは有効になりません。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

Windows XP の場合

「スタート」ボタンから「マイコンピュータ」を選択し、右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

「システムのプロパティ」画面が表示されるので「コンピュータ名」タブをクリックしてください。

「コンピュータ名」の画面が表示されます。画面内の「変更」ボタンをクリックしてください。

「コンピュータ名の変更」画面が表示されます。新しいコンピュータ名を半角英数字 15 文字以内で入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。(コンピュータ名は数字だけでは設定できません。)

再起動を促すメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。再起動後、設定が有効になります。

Windows 2000 の場合

「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

「システムのプロパティ」画面が表示されるので「ネットワーク ID」タブを選択し、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。

「識別の変更」画面が表示されます。新しいコンピュータ名を半角英数字 15 文字以内で入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。(コンピュータ名は数字だけでは設定できません。)

そのまま終了すればそのコンピュータ名が有効になります。

「ドメインのユーザー名とパスワード」画面が表示された場合は、コンピュータ名の管理を行っているホストが存在します。この場合は、ネットワークの管理者にご相談ください。



3.4 補足事項

ソフトウェアの最新情報について

本製品付属のソフトウェアの最新情報につきましては弊社ホームページをご参照ください。

弊社ホームページ：<http://www.logitech.co.jp/>

本製品を取り外すには

本製品を取り外す場合、クライアントユーティリティを終了させ、タスクトレイに表示されている PC カードのアイコン ( または ) をクリックして表示されるメッセージから「Logitech LWN-A54CBS Cardbus Wireless Network Adapter」が含まれる項目をクリックしてください。

Logitech LWN-A54CBS Cardbus Wireless Network Adapter を安全に取り外します

Windows XP で表示されるメッセージ

Logitech LWN-A54CBS Cardbus Wireless Network Adapter の停止

Windows Me で表示されるメッセージ

取り外しのメッセージが表示されたら、取り外し可能となります。

ローミング機能について

本製品ではクライアントユーティリティを使用して、複数のアクセスポイントの設定情報をプロファイルとして登録しておき、アクセスポイント間移動時に、クライアント側が自動的にプロファイルを変更して、通信を継続するクライアントローミング機能を持っています。

クライアントローミングの方法については、付属CD-ROM内の「無線LANカードユーティリティガイド」(PDF形式)の「9. 補足説明」をご参照ください。



参考：APクローン機能によるローミング

弊社製アクセスポイント使用時には、アクセスポイントの設定情報をダウンロードして別の弊社製アクセスポイントにコピーし、同じ設定情報を持つアクセスポイント間をクライアントが移動しても同じプロファイルを使用して通信が途切れないようにする(注)、APクローンによるローミング機能もご利用できます。APクローンによるローミングを使用すると、クライアントローミングと比較して、設定の手間を低減できます。

注：ただし、無線レベルで電波を拾えなくなれば、一時的に通信は途切れます。

3.5 アンインストール

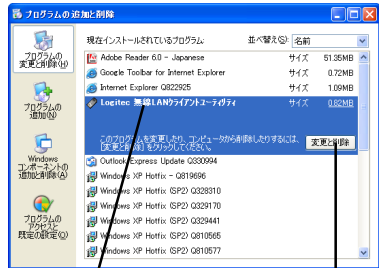
クライアントユーティリティをアンインストールする場合は、以下の手順をご参照ください。

Windows XP の場合

「スタート」 - 「コントロールパネル」を選択します。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されますので、「プログラムの追加と削除」をクリックしてください。

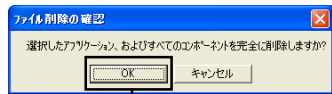
「プログラムの追加と削除」ウィンドウが表示されるので、ウィンドウ左側のタブで「プログラムの変更と削除」が選択されていることを確認して、「現在インストールされているプログラム」より、「Logitech 無線 LAN クライアントユーティリティ」を選択し、「変更と削除」ボタンをクリックしてください。



選択

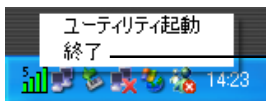
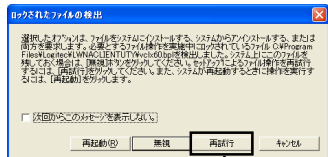
クリック

「ファイル削除の確認」ダイアログが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。



クリック

アンインストールが実行されます。途中で「ロックされたファイルの検出」ウィンドウが表示されたら、タスクトレイにあるクライアントユーティリティを終了して「再試行」ボタンをクリックしてください。



1. ユーティリティを
終了して

2. 再試行をクリック

アンインストールが終了したら、「メンテナンスの完了」ウィンドウが表示されますので「完了」ボタンをクリックしてください。

Windows Me/98 の場合

「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択します。

「コントロールパネル」ウィンドウから「アプリケーションの追加と削除」のアイコンをダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウで「インストールと削除」タブが選択されていることを確認して、表示されているリストの中から、「Logitech 無線 LAN クライアントユーティリティ」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックします。

「ファイル削除の確認」ダイアログが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。

アンインストールが実行されます。途中で「ロックされたファイルの検出」ウィンドウが表示されたら、タスクトレイにあるクライアントユーティリティのアイコンを終了して「再試行」ボタンをクリックしてください。

アンインストールが終了したら、「メンテナンスの完了」ウィンドウが表示されますので「完了」ボタンをクリックしてください。

Windows 2000 の場合

「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」と選択します。

「コントロールパネル」ウィンドウから「アプリケーションの追加と削除」のアイコンをダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウが起動したら、左側のタグで「プログラムの変更と削除」が選択されていることを確認して、「現在インストールされているプログラム」より、「Logitech 無線 LAN クライアントユーティリティ」を選択し、「変更 / 削除」ボタンをクリックしてください。

「ファイル削除の確認」ダイアログが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。

アンインストールが実行されます。途中で「ロックされたファイルの検出」ウィンドウが表示されたら、タスクトレイにあるクライアントユーティリティのアイコンを終了して「再試行」ボタンをクリックしてください。

アンインストールが終了したら、「メンテナンスの完了」ウィンドウが表示されますので「完了」ボタンをクリックしてください。

3.6 トラブルシューティング

通信ができない

他のクライアントはアクセスポイントと通信ができていますか？

Power表示ランプが消灯している場合、ACアダプタの接続をもう一度確認してください。

パソコンのTCP/IPの設定は正しく行われていますか？正しく行われている場合はクライアントユーティリティの左上部分に「IP取得済み」と表示されています。「IP取得済み」と表示されているのに通信ができない場合は以下のことをお試しください。

ご使用のパソコンに複数の通信カードがある場合（たとえば、1つは有線LANで、もう一つが本製品の場合等）、「IP取得済み」と表示されてもインターネットに接続できないなど、通信ができない場合があります。これは、有線LANカードのLANケーブルが抜かれていてもOSの通信経路が有線LANカードになっており、有線LANカードの設定情報が残っていて、パケットが有線側に流されているためです。このような場合は、いったんログオフするか、システムを再起動してみてください。

それでも通信ができない場合は、デバイスマネージャ上で使用しないネットワークアダプタを使用不可に設定してみてください。

Windows 2000でドライバのインストール時、「Microsoft デジタル署名」から先に進めない。

Windows 2000の「ドライバ署名オプション」が初期状態から書きかえられていると、このような現象が発生します。

「ドライバ署名オプション」を「ブロック」から「警告」へ変更することによりこの現象を回避することができます。

この設定は「コントロールパネル」「システム」「ハードウェア」タブ「ドライバの署名」ボタンで変更できますが、システム管理者によってこの設定が行われている場合は、システム管理者にご相談ください。

Windows XPでドライバのインストール時、「ハードウェアのインストール」から先に進めない。

Windows XPの「ドライバ署名オプション」が初期状態から書きかえられていると、このような現象が発生します。

「ドライバ署名オプション」を「ブロック」から「警告」へ変更することによりこの現象を回避することができます。

ドライバ署名オプションは、「スタート」ボタン「マイコンピュータ」を右クリック「プロパティ」「システムのプロパティ」ウィンドウ「ハードウェア」タブ「ドライバの署名」ボタンで表示することができます。

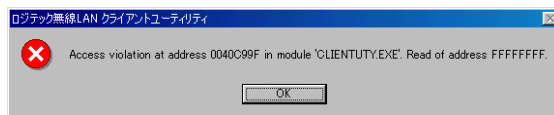
無線通信が途切れる。

付近に妨害(干渉)電波が出ている可能性があります。パソコン上で無線LANの設定画面にアクセスして、使用チャンネルを変更して見て下さい。アクセスポイントをクライアントパソコンから見て、見通しの良いところに置いてみましょう。

クライアントユーティリティのAP設定ボタンが使用できない

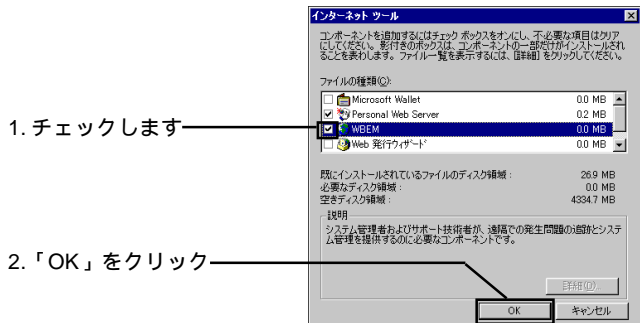
AP設定ボタンは弊社製アクセスポイント(LWN-A54APS)に付属のシステム管理者用のクライアントカードまたは、管理者が許可したクライアントのカードがセットしてあるパソコン上のユーティリティでしか使用できません。

Windows 98 Second Edition でクライアントユーティリティ起動時、以下の警告のメッセージが表示され、ユーティリティが使用できない。



このメッセージが表示された場合、以下の手順でWindowsのシステムに「WBEM」をインストールしてください。

「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」と選択し、「コントロールパネル」の一覧から「アプリケーションの追加と削除」を選択します。「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウで、「インターネットツール」にチェックが入っていることを確認し、「詳細」ボタンをクリックしてください。以下の画面が表示されるので、「WBEM」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックしてください。



3.6 トラブルシューティング

クライアントパソコン上で本製品が認識されない。

無線LANカードがPCカードスロットに正しくセットされているかをご確認ください。浮いていたり、ごみなどによって接触不良を起していませんか？パソコン側のPCカードスロットはCardBus（32ビット）に対応していない可能性があります。パソコン本体のマニュアル等でご確認ください。

「第2章 使えるようになるまで」の「接続/インストール結果の確認」を参照し、デバイスマネージャ上で付属の無線LANカードが認識されているかを確認してください。認識されていない場合は、ドライバ・ユーティリティを再度インストールしてください。

無線LANカードをもう一度セットしなおしてみてください。

データの転送レートが遅い

本アクセスポイントの設置環境をもう一度ご確認ください。周囲に障害物が多いと、通信のスループットが低下する場合があります。このような場合は別売の外部アンテナをご使用ください。

クライアント側のカードがIEEE802.11a/bの場合に、IEEE802.11aで通信を行おうとしているのに対し、IEEE802.11bで通信が固定されていませんか？

802.11bのダブルチャンネルモードで使用している場合、チャンネルは4チャンネル以上離していますか？

近くに同じ周波数帯を使用しているアクセスポイントはありますか？クライアントユーティリティを使用して同じ周波数帯を使用しているAPが検出されたら、違うチャンネルに固定にしてご使用ください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

ハードウェア仕様

機種名		LWN- A54CBS	
インターフェース		PC Card Standard (CardBus) TYPE	
無線 LAN 規格		IEEE 802.11a (無線LAN 標準互換プロトコル) IEEE 802.11b (無線LAN 標準互換プロトコル) ARIB STD- T71 (省電力データ通信システム規格) ARIB STD- T66 (省電力データ通信システム規格) RCR- STD- 33 (省電力データ通信システム規格)	
伝送方式		802.11a	直行周波数分割多重 (OFDM 方式)
		802.11b	直接拡散型スペクトラム拡散 (DS- SS) 方式 単身 (半二重)
変調方式		802.11a	DBPSK at 6 ~ 9 Mbps, PQSK at 12 ~ 18 Mbps 16 QAM at 24 ~ 36 Mbps, 64 QAM at 48 ~ 54 Mbps
		802.11b	DBPSK at 1Mbps, DQPSK at 2Mbps CCK at 5.5 & 11Mbps
送信周波数範囲 (中心周波数)		802.11a	5.150 ~ 5.250 GHz (34、38、42、46 ch)
		802.11b	2400 ~ 2497 MHz (1 ~ 14ch)
データ転送速度 *1		802.11a	6 / 9 / 12 / 18 / 24 / 36 / 48 / 54 Mbps
		802.11 b	1 / 2 / 5.5 / 11 Mbps
送信出力		10 mW/ MHz 以下	
通信距離		通信環境による	
アクセス方式		インフラストラクチャモード	
アンテナ		Dual Antenna Diversity × 2	
セキュリティ		SS ID、152/128 /64bit WEP (Wired Equivalent Privacy) AES - OCB 暗号	
環境条件 *2	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 95 %
入力電圧		DC +3. 3	
消費電流 (Typ at3.3V)		Tx : 280 mA、Rx : 214 mA	
外形寸法 (縦 × 横 × 厚さ)		114 × 54 × 5 mm	
質量		42 g	

*1 理論値。

*2 ただし結露なきこと。

オプション品について

弊社では USB 指紋認証ユニットや無線 LAN カード対応の PC カードアダプタを別売のオプション品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求め下さい。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www2.ld.logitech.co.jp/>

指紋認証 (BIO) 認証モード対応 USB 指紋認証ユニット

型番	備考
LWN- BF16U	16MBメモリ搭載 USB 指紋認証ユニット

無線 LAN カード対応 PC カードアダプタ

型番	バス	備考
LPM- CA10RP	PCI	PCI 接続 PC カードアダプタ

PC カードスロットのないパソコンで無線 LAN カードをご使用になる場合にご利用ください。ただし、パソコンに空き PCI スロットがある必要があります。

Memo

Memo

Memo

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です！)

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っています。また、弊社製無線 LAN アクセスポイントは出荷時にセキュリティに関する設定を行っておりますので、その問題が発生する可能性は高くありませんが、設定や運用方法によっては上記に示したような問題が発生する可能性があります。

従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。
セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせ下さい。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。



古紙配合率100%再生紙を使用しています